

2013年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

関東学院大学生物研究倫理委員会

2014年5月31日

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 関東学院大学生物研究倫理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 基本指針に基づいた機関内規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 関東学院大学生物研究倫理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に基づいた動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 関東学院大学生物研究倫理規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 機関内規程及び諸書式により適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 □ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ■ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 □ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 関東学院大学生物研究倫理規程 ・ 関東学院大学組換えDNA実験実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 感染動物実験は実施されていない。 「関東学院大学組換えDNA実験実施規程」が、工学部を対象とした規程となっているが、理工学部をはじめ、他学部を対象としたものに改正する必要がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 2014年度内に、「関東学院大学組換えDNA実験実施規程」の改正を行う。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 関東学院大学生物研究倫理規程 ・ 研究計画書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 研究者から提出された研究計画書で、飼養保管施設である飼育室が適正に管理されていることを確認している。実験動物の管理については、各実験の担当者が、学会・省庁等で定められた「実験動物の飼養と保管に関する指針」に基づき、個別に行っており、「実験動物管理者」は置かれていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 2014年度内に関係する規程を整備して、「実験動物管理者」を置く。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 関東学院大学生物研究倫理規程 ・ 生物研究倫理委員会議事録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内規程に基づき、委員会の役割を果たしている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 生物研究倫理委員会議事録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 的確に審査・承認が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 関東学院大学生物研究倫理規程 ・ 関東学院大学組換えDNA実験実施規程 ・ 研究計画書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 感染動物実験は実施されていない。 「関東学院大学組換えDNA実験実施規程」が、工学部を対象とした規程となっているが、理工学部をはじめ、他学部を対象としたものに改正する必要がある。
4) 改善の方針、達成予定時期 2014年度内に、「関東学院大学組換えDNA実験実施規程」の改正を行う。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 関東学院大学生物研究倫理規程 ・ 研究計画書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・ 実験動物の飼養保管については、各実験の担当者が、学会・省庁等で定められた「実験動物の飼養と保管に関する指針」に基づき、個別に行っており、「実験動物管理者」は置かれていない。また、「飼養保管手順書」と銘打った印刷物は作成されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 2014年度内に関係する規程を整備して、「実験動物管理者」を置き、「飼養保管手順書」を作成する。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 研究計画書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 現在は研究計画書に添付されている施設の写真による確認を行っている。また、施設を保有する学部の生物研究倫理委員会委員が確認を行っているが、2014年度内に関係する規程を整備して、「実験動物管理者」を置き、施設の適正な維持管理を行う予定である。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 関東学院大学生物研究倫理規程 ・ 研究計画書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 実験実習などで学生が動物実験を行う際は、実施前に実験動物の取り扱い、管理・保管、倫理問題などについて教育訓練を行っている。また、動物実験に従事する教職員・学生を対象に、毎年動物慰霊祭を行っており、その中で倫理等に関する事項も取り扱われている。しかし、教職員を対象とした実験動物の管理・保管に関する教育訓練は行われていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 教職員を対象とした実験動物の管理・保管に関する教育訓練について、今後行うことを検討中である。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
2013年度動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
情報公開を行っていない。
4) 改善の方針、達成予定時期
2014年5月末には、自己点検・評価報告書をホームページに公開する予定である。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。
